

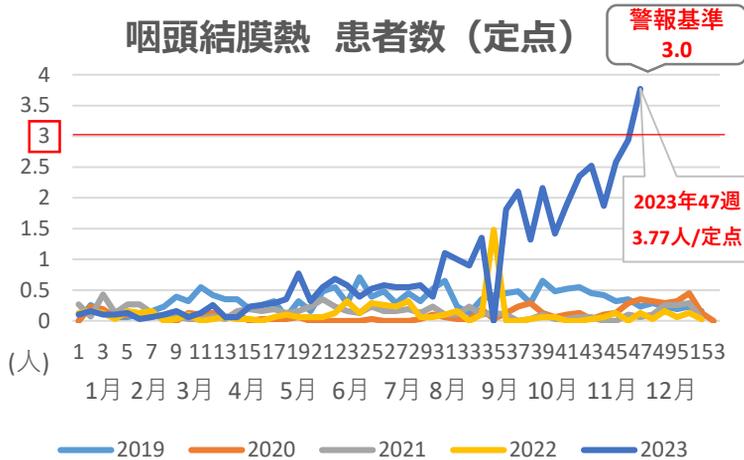


咽頭結膜熱（アデノウイルス）が流行しています！

アデノウイルスとは？

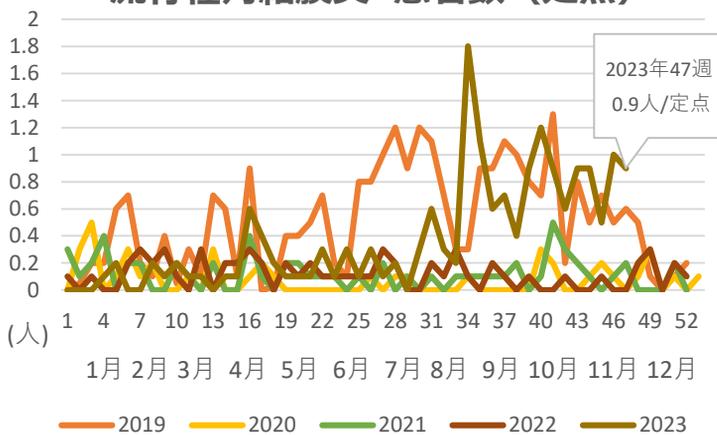
アデノウイルスは血清型によって分類され、様々な疾患を引き起こします。その中に咽頭結膜熱や流行性角結膜炎があります。多くは潜伏期間が5～7日で、便や飛沫、患者との直接接触によって感染します。咽頭結膜熱は**プール熱**と呼ばれることもあり、流行のピークは7～8月ですが、今年は季節はずれの流行となっています！

咽頭結膜熱 患者数（定点）



1日の間に39～40℃の高熱と、37～38℃前後の微熱の間を上がったたり、下がったりが4～5日ほど続く。扁桃腺が腫れ、のどの痛み、頭痛、腹痛、下痢症状が出現することがある。両目または片目が真っ赤に充血し、目やにが出る。飛沫や便を介して感染する。

流行性角結膜炎 患者数（定点）



発病から1週間前後で症状のピークをむかえ、2～3週間で治る。目が充血し、朝起きた時に「めやに」で目が開かないくらいになる。まぶたが腫れたり、涙目になったりする。耳の前のリンパ節が腫れて触ると痛みがある。手を介した接触により感染し、**感染力は非常に強い**。ウイルスは便中に1か月程度排泄される。

流行時の感染予防

予防の基本は接触感染予防の徹底！

- こまめな流水と石鹸での手洗い、うがい
- ドアノブやおもちゃ等、共有物の消毒
- 自分の手拭きタオルを携帯する、ペーパータオルを使用する。



感染した場合

- タオルやシーツなどの共有するものは個人用にする。
- 目を拭くときはティッシュを使用し、ビニール袋などに入れて捨てる。
- 感染した人は最後にお風呂に入る。

※消毒にはアルコール（消毒用エタノール）が効きづらく、次亜塩素酸ナトリウムを含む消毒液を使いましょう。